

●札幌市職員のプラスチック削減運動について

プラスチックは、便利な素材であるがゆえに大量に生産・消費される一方、リサイクル率が低く、焼却等により適切に処理された場合にも二酸化炭素の発生による地球温暖化の問題などがあります。

さらに、近年では、適切な処理が行われずに海へ流出する「海洋プラスチック」が世界的な問題となっており、本市においても削減に向けた取り組みを一層進める必要があります。

札幌市では、2008 年に「環境首都・札幌」を宣言し、世界に誇れる環境都市を目指しております。そこで、このプラスチック削減に向けて、まず市職員が、以下の 3 つについて率先的に取り組むことで、市民の皆さんの積極的な行動を促してまいります。

1 エコバッグ等の利用促進

各職場において、家庭で眠っているエコバッグの持ち寄りなどの工夫をし、昼休みなどにおける売店・コンビニエンスストアなどの利用の際に、レジ袋を受け取らないよう努める。

そのほか、週 1 回、本庁舎のほか区役所等を含む全職員に対し、エコバッグなどの利用を促すメールを送付するほか、本庁舎において昼休み前に庁内アナウンスで呼び掛けるなど、周知を図る。

2 ペットボトルの使用削減

会議等における飲料の提供時には、ペットボトルの使用を可能な限り控え、湯飲みや紙コップ等を使用する。また、職員が飲み物を購入する際には、可能な限り缶や瓶などペットボトル以外の購入を心掛ける。

3 プラスチック製品の購入削減

啓発品や事務用品の購入時においては、可能な限り、紙製品などプラスチック製以外のものを購入する。

< 参考 >

エコバッグシェアコーナー

【場所】

・環境局が所在する市本庁舎 12 階南側および 13 階北側の壁

【内容】

・フック付きの磁石を貼り、昼休みの時間帯にエコバッグを掛けて、利用を促進するもの



▲ 環境局の取り組み

(エコバッグシェアコーナー)

問い合わせ先

環境局環境事業部循環型社会推進課 三好・川崎
電話：211-2912、ファクス：218-5108